

株式会社 陶香堂 代表取締役社長 吉岡 琢磨 氏



INTERVIEW
聞き手●事務局／照井

「宮内廳御用達」の器専門店として、赤坂一ツ木通りに風格漂う店舗を構える陶香堂。東京都陶磁器組合の理事・監事、東京赤坂ロータリークラブのメンバーで元会長でもある、吉岡琢磨氏に話を伺った。

赤坂の文化的香りに惹かれて

陶香堂は、昭和10年、初代吉岡澄雄氏が「吉岡陶香堂」として港区青山に創業。昭和23年に現在の港区赤坂に移転して来た。

「昭和24年には宮内省より御用達の許可を賜っています。赤坂に移転したきっかけは、御所が近いこと、官公庁が多いこと、何より赤坂の文化的香りを初代が気に入ったことにあります。銀座か赤坂かとなった時、赤坂を選んだわけです」

吉岡氏は一度就職し、外の世界も見たいうえで、28歳の時に二代目を継ぐ。初代である父親を尊敬していたのはもちろん、男なら一国一城の主として頑張ってみようと思ったのがきっかけとのこと。また昔は東京都内に500



●イケメンと評判の三代目と一緒に。右(長男)、左(次男)。

あった専門店が今では100を切っている。そんな現状を何とかしたいという気持ちも背景にあったようだ。現在、三代目となる長男と次男も、吉岡氏同様大学卒業後は社会に出て勉強し、自らの意思で店を継ぐことを決め、経営に携わっている。

家業としての誇り

「初代から本当にいいもの、良い器を扱ってきたとの自負があるから、家業として誇りを感じています」



●皇太子ご成婚の際に納めたお品

家業としての誇りは、扱う商品に妥協を許さない点に表れている。プロパーなものではなく、デザインから関わったオリジナルの器にこだわり、取引先も一流と言われるところばかり。老舗百貨店で展示会、歌舞伎座、出

版社、和食専門店、料亭などの他、今上天皇の即位の礼に際し取り行われた「饗宴の儀」では、20,000点以上もの食器を納めた。普段から美術館にはよく出かけ、絵などの美術品も鑑賞している。良い物・本物に触れることで感性を磨き、見る目が養われるのだろう。

家庭料理・家族の食事を大切に

吉岡家では家族での食事を大切にしている。家庭料理を大切にすることが、食文化の発展につながり、家庭料理を通して食育が成され子供のみならず人が育つと吉岡氏は考えている。

「料理には飾り付けや食器選びも含まれます。季節によって食器を変えたり、盛り付けのおかずが映える食器選びをすることで心が豊かになるんですよ」



●趣味のよい器が並ぶ店内

器を通して、家庭料理、家族で囲む食事、食事環境の大切さを伝え広めていきたいと言う。

「良い器、高級な食器ほど普段家庭で使ったほうが良いんです。たまにしか来ないお客様には普通の食器で充分。普段からいいものを使い慣れていると扱い方がわかってくる。壊したりすることもなくなるんです。もっと食器を楽しんで欲しいですね」



●店内中央には季節に応じた商品が並ぶ

個々のお店の発展が商店街の発展に

吉岡氏は商店街組合が共商會と呼ばれていた頃から商店街の一員として活動をしてきた。当時は居住者がほとんどだったこともあり、チームワークがとても良かったとのこと。冬は

福引、夏は大掛かりなイベントを開催したが、全員参加で行われたそう。

「現在、オフィス街化による土日の集客などの問題はありますが、若い世代の方達へのメッセージとしては、環境は変わっても街に協力をしていって欲しい。個々のお店の発展が商店街の発展につながるんですから」

と吉岡氏は言う。息子世代へ商店街活動を引き継ぎつつ、同世代へは「リタイアせず現役で頑張りたい」と笑顔で語る。

昨年、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録された。今回、吉岡氏のお話を伺い、食文化の基本に家庭料理があること、家族と



●店内奥の座敷には高価な陶器がずらり



●本業の傍ら商店街活動も精力的に行う吉岡氏

の食事が大切であることをあらためて考える良いきっかけとなった。料理の腕は急に上がらないとしても、食器はすぐに替えられる。家族に季節感のある、美味しく見える食事を出そうと、密かに決意をした次第である。

陶器・陶磁器 和食器 ギフト 宮内廳御用達 海外のおみやげ
宮内廳御用達 **陶香堂**
●港区赤坂3-21-12 ●電話:03-3583-3915

CALENDAR

	2014 01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	2015 01
イベント EVENT			★ チャレンジマラソン 交通安全のつどい		★ 一ツ木ワゴンセール春				★ Swing赤坂 交通安全のつどい	★ ハロウィン 一ツ木ワゴンセール秋			
定例理事会 RIJI-KAI	毎月第1木曜日												
その他 SONOTA	● 1/17 新年賀詞交歓会				● 5/24 第43回通常総会及び懇親会		● 7月 暑気払い					● 12月 忘年会	● 1月 新年賀詞交歓会
かわら版 KAWARA-BAN	● 1/20発行			● 4/20発行 (予定)			● 7/20発行 (予定)			● 10/20発行 (予定)			● 1/20発行 (予定)

※予定や内容は変更になる場合がございます。

ACTIVITY

PR拠点開発事業 担当:事業推進委員長●五代俊介氏／(株)アカバコミュニケーションズ／藤貫ビル5F

全国商店街振興組合連合会による、地域商店街活性化事業助成金交付決定を受け行われました。一ツ木通り全体をPRスペースとして活用し、街路灯に4種類のフラッグ掲出。歩道の石柱にも4種類のシールを掲出。住友不動産新赤坂ビルにはPRボードを設置しました。期間は10月15日～11月14日の1か月間。赤坂一ツ木のブランドイメージ(黒塚、神社・仏閣、路地)を、来街者に発信しました。同時に、一ツ木通り周辺の「一ツ木まち歩き」も実施して、直接来街者に一ツ木通りの魅力に触れてもらう機会も設けました。11月2日(土)、午前と午後の2回。コースは溜池山王駅→山王日枝神社→赤坂松月→浄土寺→土橋園→住友ビルPRボード→赤坂不動尊→陶香堂→豊川稲荷。案内役はBS-TBSの長寿番組「謎解き!江戸のスミ」出演で人気のTVタレント「お江戸ルポーリー」こと、堀口菜純さん。参加された方たちは、次は家族と、友人と、彼女と来たいと楽しんで帰られました。

看板撤去のためのパトロール 担当:環境整備委員長●横井 氏／(株)一ツ木不動産／小泉ビル1F

12月19日、環境整備事業の一環として、歩道へのはみ出し看板の整理を行いました。一ツ木通りを訪れてくださった方が気持ちよく歩いていただけるようになったと思います。パトロールにご協力いただいたのは、港区役所、赤坂地区総合支所、赤坂警察署、一ツ木通り商店街の皆様です。ご協力ありがとうございました。

